



終わりの時に心を元に戻す

暗唱 聖句

「見よ、わたしは／大いなる恐るべき主の日が来る前に／預言者エリヤをあなたたちに遣わす。彼は父の心を子に／子の心を父に向けさせる。わたしが来て、破滅をもって／この地を撃つことがないように」
(マラキ 3：23、24、新共同訳)

「見よ、主の大いなる恐るべき日が来る前に、わたしは預言者エリヤをあなたがたにつかわす。彼は父の心をその子供たちに向けさせ、子供たちの心をその父に向けさせる。これはわたしが来て、のろいをもってこの国を撃つことのないようにするためである」
(マラキ 4：5、6、口語訳)

今週の 聖句

マラキ 3：23、24 (口語訳 4：5、6)、マタイ 11：14、15、17：10、
列王記上 16：29～17：24、18：20～45、マタイ 3：2

安息日 午後 6/22

今週のテーマ

私たちの人生は、さまざまな段階を経ます。順調に行っている段階もあれば、そうでない段階もあります。両親が揃っていて強い家庭もあれば、壊れやすい家庭、あるいは家族がバラバラになってしまった家庭もあります。

私たち自身や家族の現時点の局面、段階、状態がどうであれ、私たちは神の約束という光の中で生きることができますし、生きなければなりません。心、精神、力を尽くして、それらの約束に堅く信頼するのです。なぜなら、最終的にそれだけが私たちの希望だからです。しかし、それらはなんと大きな希望でしょう。聖書は約束であふれています。それらは、私たちの人生や家族の段階がどうであれ、私たち自身や愛する者たち、家族や教会のものとして、求めることのできる約束なのです。

今期最後の週である今週、私たちはさまざまな状況における聖書の物語、約束、体験について考えます。その過程において、私たちの状況がどうであれ、現在の私たち自身のために教訓を引き出すでしょう。なぜなら、十中八九、あなたがだれであろうと、どこにしようと、人生のどの段階であろうと、あなたには苦しみ、恐れ、不安があるからです。幸いなことに、私たちが礼拝する神は、私たちが何に直面しているかを知っておられるだけでなく、それらよりも、間違いなく、まさっておられるお方なのです。

問1 エリヤの到来の予告と、その出来事への新約聖書の言及とを比較してください。マラ3:23、24〔口語訳4:5、6〕、マタ11:14、15、17:10、マコ6:15、ルカ1:17

マラキの時代、「立ち帰れ、わたしに。そうすれば、わたしもあなたたちに立ち帰る」(マラ3:7)という神の訴えは、「どのように立ち帰ればよいのか」(同)という傲慢な返答で応じられました。苛立つ預言者は、リバイバルの機会がもう一度与えられるだろうと告げました。マラキは、エリヤによって始まった心を元に返させる改革を思い出しながら(王上18:37)、エリヤが「父の心を子に／子の心を父に向けさせる」(マラ3:24〔口語訳4:6〕)ために再びやって来る、と予告したのです。

エリヤがメシアの先駆けとして自らあらわれるだろう、というユダヤ人の言い伝えが生まれました(マタ17:10、マコ6:15 対照)。しかし新約聖書は、この預言の成就としてバプテスマのヨハネを示しています(マタ11:14、15、ルカ1:17)。

問2 「心を元に返す」という語句は、どういう意味だとあなたは思いますか。

マラキの聖句は、いくつかの適用が可能です。例えば、先の語句はイスラエルの人々と主の和解を指しています。父としての神は(イザ63:16)、自分の子らに対する怒りから目を離し(ミカ7:18、19)、御自分のもとへ立ち帰るようにと彼らに呼びかけられます(イザ44:22、マラ3:7)。また先の語句は、のちの世代が契約の更新によって忠実な先祖と再びつながることを指しています。族長たちの信仰に従うようにという、神の民に対する預言者の呼びかけが、旧約聖書の中で繰り返さされました。その土地が、祝福された定住地であり続けるかどうかは、契約に忠実であることと直接関係していました(申4:29～31)。先の語句は、家族関係の回復と更新を指しています。親子の関係は、神との契約上の忠実さの実験的なあらわれです。ここでも、親と子の責任を果たすことが、土地と神の祝福を継続的に受け継ぐことと深く結びつけられています(箴2:21)。

◆ 神との修復された関係と、私たちの家庭における修復された関係との間には、どのようなつながりがありますか。なぜ前者は後者に先行する必要がありますか。

アハブ王のシドン人の妻イゼベルによって持ち込まれたバアル礼拝は、国民の道徳的墮落を加速させました。結婚、家庭、性生活を高めた神の教えは、近親相姦、売春、そのほかの性的倒錯行為によって影が薄くなりました。礼拝を巡るこのような戦いの場に、「ヤハウエはわが神なり」という意味の名前を持つエリヤが足を踏み入れ、バアルを非難したのです。

エリヤの経験は、異教の信仰を覆し、新しい命を家庭にもたらすことに彼を結びつけました（王上16:29～・17:24とルカ4:25、26を比較）。

干ばつの呪いを宣告して以降、エリヤは目をつけられていました。そこで神は彼を思いもよらない場所にかくまわれたのです。それは、イゼベルの地元に近いシドンのサレプタに住む貧しいやもめの家でした。エリヤはこのやもめに、残されたわずかな薪、油、小麦粉を用いて彼に食べさせ、将来を神にゆだねるという厳しいテストで呼びかけました。彼女の信仰は伝説的になりました。イエス御自身も、のちに彼女を称賛しておられます（ルカ4:26）。この女性は、油と粉が幾日も尽きなかったので、ヤハウエについて一層理解を深めました。しかし悲劇的なことに、その後、彼女の独り息子が病気になり、死んでしまったのです。悲しみをエリヤにぶつける中に、彼女の周りでなじみ深い宗教を反映しています。それは、人の罪が子どもの犠牲を求めることがあるという（王上17:18、とエレ19:5、ミカ6:7を比較）、今やイスラエルを覆い尽くしている歪んだ^{ゆが}信仰でした。

問3 息子との再会は、このフェニキヤ人のやもめの霊的経験に、どのような影響を及ぼしましたか（王上17:24）。彼女の言葉から、私たちは何を学ぶことができますか。

この母親の返事は、エリヤのメッセージの影響を示しています。神の力によって命が回復され、家族が再会するとき、神と御言葉に対する信仰が心に湧き上がるのです。今日、教理が説かれるとき、多くの人が同意するかもしれませんが、彼らは霊的経験においてなまぬるい状態にあります。しかし、神の言葉の真理を個人的に経験し、家庭の人間関係にリバイバルと回復が生じるとき、これまでよりずっと強く、確信が心に与えられるのです。

◆ あなたが待ち望んでいる家族の再会は、どのようなものですか。再会の希望を与えてくれるどのような神の約束に、あなたは堅く信頼していますか。

問4 列王記上 18：20～45 を読み、この挿話が基本的に何に関する話であるか、下の余白に書いてください。背景はまったく異なりますが、この物語の中に見られる原則は、いかに家庭生活に適用できますか。

エリヤはカルメル山にて、民の側が契約を更新すること、つまり彼らの生活に、家庭に、土地にいやしをもたらす父祖たちの信仰に彼らが立ち帰ることを心から望みました。

夕方の献げ物をささげる時刻 異教の預言者たちが献げ物に関して失敗したあと、エリヤの番になりました。彼は計画的でした。その時刻は、聖所の奉仕で明らかにされていた神の贖いの計画に注意を引きつけました（出 29：41 対照）。「わたしの近くに来なさい」（王上 18：30）という招きは、罪人を招かれた救い主を思い起こさせます（マタ 11：28 対照）。子どものわがままに苦しむ親たちは、神がイスラエルを心から愛されたように、わが子を愛しておられるという確証を得ることができます。神は、わがままな子らを御自分のもとへ引き寄せるために、絶えず働いておられるのです。

エリヤがヤハウエの祭壇を重視したことは、現代において、イエスとその救いの恵みが家庭の中で高く掲げられることに相当します。家庭礼拝は、祈りによって神に語りかけ、家族が神について互いに語り、神の救いの賜物を改めて受け取り、神の教えについてじっくり考えるために心に向け、時間を割く機会です。

エリヤが求めた応答は、神が彼らを御自分のもとに取り戻されたことを示す合図でした。列王記上 18：37 には、「この民は、……彼らの心を元に返したのは、あなたであることを知るでしょう」と記されています。私たちは自分の心を神に向けることができません。私たちにできるのは、神の恵みに応じることだけであり、そのうえで神が惜しみなく与えてくださるのです。

すべてを焼き尽くす火は、罰すべき者たちの上ではなく、献げ物の上に降りましたが、それは未来のイエスを指し示していました。彼は、「私たちの代わりに罪とされました。それは、私たちが、この方において、神の義となるためです」（Ⅱ コリ 5：21、新改訳）。罪の告白と賛美の音が人々の唇からあふれ出しました。偽預言者たちは神の呼びかけに応じなかったので、処刑されました。やがて、さわやかな雨が大地への呪いを終わらせました。

◆ あなたの家の「祭壇」は、どういう状態ですか。もし築き直す必要があるとしたら、どのような具体的方法であなたの家の祭壇を築き直しますか。

ガブリエルの予告（ルカ1:17）と、予告されたエリヤはヨハネであるというイエスの確認（マタ11:14、17:12、13）とともに、福音書の記者たちは、バプテスマのヨハネが主の道を備える「使者」であったと断言しています（マタ11:10、マコ1:2、ルカ7:27、さらにマラ3:1対照）。

問5 ヨハネのメッセージの主要な特徴に注目してください（マタ3:2、8、14:4、マコ1:4、ルカ3:3、8、9、11、13、14）。彼のメッセージは、どのように「心を元に戻す」メッセージでしたか。

種を蒔く準備のために固い土地を耕す農夫のように、ヨハネは罪を非難し、罪人に悔い改めを迫りました。人間の性質というのは、自己吟味や自分の真の状態への気づきがなければ、より良いものを求める必要を感じません。ヨハネのメッセージは、神の要求の聖さと神の完全な義の必要性へ人々の心に向けさせました。純粋な悔い改めは、謙遜と、自分の行動を変えるために神の助けを頼りにすることを常に特徴とします。アブラハムを自分たちの父と主張する人たちの浅はかで自分中心な偽善をさらすことで、ヨハネは彼らの父祖たちの信仰のより深い意味を明らかにしようとしたのです。

問6 バプテスマのヨハネのメッセージは、イエスのためにいかに道を備えましたか。ヨハ1:35～37、3:27～30

ヨハネは、イエスが神の小羊であると示されていました。彼がイエスをそのように紹介したとき（ヨハ1:29、36）、彼は文字どおり人々をイエスに向けさせたのです。アンデレと、ヨハネのもう1人の弟子であった（福音書の記者で当時のことを記した）ヨハネは、バプテスマのヨハネのもとを去り、イエスの弟子になりました。エリヤのメッセージは、悔い改めの必要性を指し示すだけでなく、罪から救ってくださるお方を明らかにし、このお方について気持ちを高め、人々をこのお方へと導くのです。

◆ もしバプテスマのヨハネがあなたの家にやって来たら、彼はあなたに何と言うと思いますか。

ある意味、私たち再臨信徒は、自分たちがバプテスマのヨハネの役割を担っていると考えます。改革と悔い改めのその先駆けは、イエスの初臨のための道備えをしましたが、私たちは運動として、再臨のために同じことをしていると思っています。

問7 ルカ1：17を祈りつつ読んでください。この聖句は、私たちのメッセージをどのように捉えていますか。

天の父なる神は、子らの心を御自分に向けさせ、キリストの十字架によって、子らの心をお互いに向けられました。エリヤのメッセージは、家族がこの信じがたい福音を信じ（Ⅱコリ5：18～21、さらにエフェ2：11～18比較）、神の霊が彼らの内に愛の実を結び、恵みに満ちあふれた人となることを切に願っています。

この世は、無私無欲な思いやり、持続的な誓い、神への揺るぎない献身の実践を切実に必要としています。神の恵みによって、クリスチャン家庭はそのような実践をすることができます。しかし、私たちがこの世のために持っているメッセージは、私たち自身のものであることも忘れてはなりません。福音、一致、愛、自己犠牲などの原則が私たちの間に、とりわけ私たちの家族の間にあらわれるまで、このメッセージをほかの人に伝える力は私たちにないでしょう。あらゆる雄弁な説教も、あらゆる論理も、聖書の説明も、十分ではありません。この世は、私たちの生活の中に、とりわけ私たちの家庭の中に、私たちが宣べ伝えている悔い改め、変えられた心、愛、誓いがあらわれているのを見る必要があります。バプテスマのヨハネに、人生を変え、彼の説教を効果的なものとする力があつたように、私たちは神の恵みによって同じことができますが、それは私たちが進んで協力する度合いに応じてです。

イエスによって、私たちは天の家族の一員です（エフェ3：15）。それゆえ、私たちが何人家族であろうと、私たちがお仕えすると公言する神の証人になるように召されています。そして、福音の力によって（人数にかかわらず）家族がなりうる姿をこの世に示すこと以上に、私たちのあかしを効果的なものにするものはありません。

◆ 肉親であれ、ほかのだれかであれ、あなたの身近な人に、あなたが愛し、気にかけていることを示すために、特別な方法で、あなたはどんなことができますか。

参考資料として、『国と指導者』第11章「カルメル山の対決」と『各時代の希望』第10章「荒野の声」を読んでください。

「私たちのメッセージは、ヨハネのメッセージと同じくらい単刀直入でなければなりません。彼は王たちの悪行を叱責した。ヨハネは、命が危機にさらされていたにもかかわらず、真理が彼の唇に放置されることを許さなかった。現代における私たちの働きは、同様に忠実になされなければならない」（『SDA聖書註解』第4巻1184ページ、英文）。

話し合いのための質問

- 1 安息日学校のクラスで、エリヤのメッセージとあなたの所属教会との関連性について話し合ってください。あなたの所属教会がこのメッセージと、それを広めるための役割を理解するために、あなたは何をすることができますか。
- 2 安息日学校のクラスで、「心向けさせられた」個人的体験を進んで語ってくれる人を依頼してください。どのような変化が生じましたか。この経験は、彼らの人生や家族の人生に、どのような違いをもたらしましたか。
- 3 もし私たちがバプテスマのヨハネの役割を担うとしたら、どのようなことが私たちの身に起こると予想すべきですか。その答えには、どのような暗黙のメッセージが含まれていますか。
- 4 安息日学校のクラスで、一種の「家族の原則宣言」（1段落ほどの）を作成してください。家族とはどういうものかという聖書の考えを要約したものです。そのような原則を作るうえで、あなたはどんな基準を用いますか。そのような原則を定めるうえで助けとなるどのようなことを、あなたは今期学びましたか。全教会員にそれを発表する準備をしてください。
- 5 (少なくとも現時点において) 主から逃げている子どものために、あなたは親として、どのような約束を自分のものとして求めることができますか。